

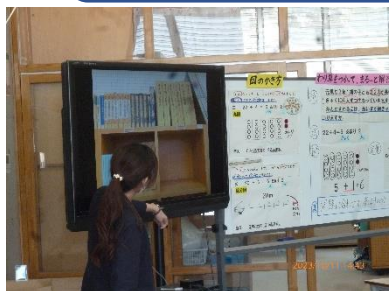
川尻中学校区 小中一貫教育だより

令和5年 10月25日

小学校研究授業

算数科「わり算を使って、まるっと解決！」～あまりのあるわり算～

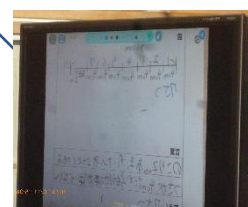
3年1組 授業者 中吉 桃子教諭



あまりのあるわり算で、あまりを問題に合わせて、切り上げたり切り捨てたりする場合の問題についてみんなで考えました。生活の場面につなげ、「図書室の幅30cmの本棚に厚さ4cmの本が何冊立てられるか」という問題を考えていきました。



全体での対話の場面では、あまりの処理の仕方の違いについて話し合いがなされました。「なんで答えの7に1を足すのですか。残り2cmのはばには、4cmの本は立てられないのではないのですか？」と互いに質問し合いながら、相手の意見を理解し、考えを深めていこうとする児童の姿が見られました。自ら問いをもちながら数学的な見方・考え方を生かし主体的に学ぶ素晴らしい姿でした。



考えをタブレットを使って共有し、考えました。

中学校研究授業

英語科「Unit4 Be Prepared and Work Together」(NEW HORIZON English Course3)

～ 外国の人に避難方法について説明しよう ～

3年B組 授業者 下岡 瑞希教諭



「よいコミュニケーションとは？」という本質的な問いについて、生徒たちが、主体的に学んでいく構成で授業が進んだ。

「初めての来日を考えているJasから『もし日本で災害が起こったら、避難方法がわからないから不安だわ』というメールが届いた。」という単元の導入で、学習内容がより現実的なものとなった。生徒がJasの不安を解消するためには、「どうしたら海外の人にわかりやすく伝えることができるだろうか」という単元を貫く課題を常に意識しなければならず、研究授業では、生徒たちが自ら問いを発し、主体的に取り組む姿が見られた。



Zoomを使ってアメリカとつなぎ、生徒たちは、リアルタイムでJasと会話をした。実際に英語で避難方法を伝えることで、Jasの反応を確認し、新たに自分たちの課題に気付く場面もあった。今後につながる学習となった。